

校長のつぶやき II

校長室便り 第12号

令和2年6月8日 山内

○授業再開一週間 ―岩高生の声―

学校再開からちょうど一週間です。この一週間を過ごしてみて岩高生の感想を紹介します。

◇1年2組 佐々木 唯 さん

初日から6時間授業がはじまり、オリエンテーションなどをしながら、どの授業も少しずつ勉強が進んでいます。友達も少しずつ増えていて、これからの高校生活がとても楽しみです。

◇2年1組 佐藤 里佳 さん

新型コロナウイルスの影響で長い間休校になり久しぶりに学校が始まるようになって色々不安はありました。学習面では約2ヶ月分の授業を課題として自力で勉強するのが大変でした。本来なら先生の解説を聞いたり友達と話し合い考え合って答えを見つけたりすることが家ではできないので苦労しました。学校再開初日は長い間友達と会っていなかったのが久しぶりに友達と話し、笑いながら登校できてうれしかったです。コロナウイルスのせいで、色々な行事ができなくなったり行事ができて制限があったり今年は今までとは勝手が違うことが多くなると思います。早くコロナウイルスが終息し、いつもの生活に戻りたいです。そのために自分自身も気をつけながら生活していきたいと思います。

◇3年3組 濱田 優菜 さん

約二ヶ月ぶりの登校で、初めのうちは少し不安で緊張していました。しかし友達と話しをしていくうちに不安も緊張もなくなっていました。授業では新しい先生ともうち解けることができ、学校がやっと再開したんだと実感しました。今後はまた学校が休校にならないように対策をとっていききたいと思います。

○6月8日（月） ―本来なら総体最終日―

今日は6月8日（月）、本来であれば県高校総体最終日すべての競技で準決勝、決勝が行われる日でしたが、新型コロナウイルスの影響で今年度は47都道府県すべて総体は中止となりました。

11年前まで私も教員でしたので、運動部顧問として様々な総体最終日を経験してきました。20代の頃は初日の土曜に敗退し、日曜そして最終日の月曜と大会運営に終始していました。30代になると土曜日は勝ち進めても、日曜日の壁は厚く、なかなか勝ちきれずに月曜日の最終日はやはり大会運営だけに終始し、生徒と共に顧問として最終日に進めたのは40代になってからでした。生徒のお陰で1位、2位、3位と最終日全ての順位を経験させてもらいました。30年以上経った今でもほとんど全ての最後の試合とミーティングを覚えています。

初日、二日目、最終日すべてに共通しているのは敗戦後の最後のミーティングです。最終日で勝ってインターハイにいても優勝校以外はどこかで敗れます。私は戦績に関係なく、三年間取り組んできた過程を重視し、一人一人に、全体に語りかけました。生徒からも最後のミーティングで様々な言葉をもらいました。三年生は後輩に様々な思いを託していました。岩高生の三年生の皆さんは顧問の先生方からどのような言葉を掛けられるのでしょうか。後輩達にどのような言葉を残すのでしょうか。どのような思いを託すのでしょうか。

あの震災の年でさえ、県高総体は行われました。今年は宮城県高校総体始まって以来初の中止です。残念ですが、現実をしっかり受け止めなければなりません。震災の時も感じましたが、日々の何気ない当たり前の生活がどんなに幸せなのか大人も子供もみんな感じていると思います。ではこれで今回のつぶやきはお終いです。

高総体 汗水たらし がむしゃらに 最高の友と 最後の試合